

[25] 次の記述は、「小学校学習指導要領解説 総則編」(平成 29 年 7 月)の「第 3 章 教育課程の編成及び実施 第 1 節 小学校教育の基本と教育課程の役割 4 カリキュラム・マネジメントの充実(第 1 章第 1 の 4)」の一部である。空欄 [ア] ~ [ウ] に当てはまるものの組み合わせとして最も適切なものを、後の①~⑤から選びなさい

教育課程はあらゆる教育活動を支える基盤となるものであり、学校運営についても、教育糧に基づく教育活動をより効果的に実施していく観点から組織運営がされなければならない。カリキュラム・マネジメントは、学校教育にかかわる様々な取り組みを、教育課程を中心に据えながら組織的かつ計画的に実施し、[ア]の向上につなげていくことであり、本項においては、中央教育審議会答申の整理を踏まえ、次の三つの側面から整理して示している。具体的には、

- ・ 児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を [イ] な視点で組み立てていくこと。
- ・ 教育課程の実施状況を [ウ] してその改善を図っていくこと。
- ・ 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

等を通じて、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の [ア] の向上を図っていくことと定義している。

- | | | | | | | |
|---|---|---------|---|----------|---|----|
| ① | ア | 教科等の授業力 | イ | 系統的かつ継続的 | ウ | 共有 |
| ② | ア | 教科等の授業力 | イ | 教科等横断的 | ウ | 共有 |
| ③ | ア | 教育活動の質 | イ | 教科等横断的 | ウ | 評価 |
| ④ | ア | 教科等の授業力 | イ | 教科等横断的 | ウ | 評価 |
| ⑤ | ア | 教育活動の質 | イ | 系統的かつ継続的 | ウ | 評価 |

[26] 次の記述は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)「第5章 特別活動 第2各活動・学校行事の目標及び内容〔学級活動〕 2 内容(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の一部である。空欄 ア ～ ウ に当てはまるものの組み合わせとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。

ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

現在及び将来の学習と自己実現のつながりを考えたり、に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り替えること。

イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成

社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営むうえで必要なマナーやルール、や社会に貢献することについて考えて行動すること。

ウ 主体的な進路の選択と将来設計

目標をもって、生き方や進路に関する適切な情報を・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|------|---|----|
| ① | ア | 探究的 | イ | 地域 | ウ | 分析 |
| ② | ア | 自主的 | イ | 地域 | ウ | 分析 |
| ③ | ア | 自主的 | イ | 働くこと | ウ | 収集 |
| ④ | ア | 探究的 | イ | 地域 | ウ | 収集 |
| ⑤ | ア | 自主的 | イ | 働くこと | ウ | 分析 |